

令和6年度第1回宇都宮市民大学運営協議会

日 時 令和6年4月25日（木）
午前10時00分～午前11時00分（予定）
会 場 人材かがやきセンター研修室
（宇都宮市中央生涯学習センター5階）

次 第

1 開 会

- (1) 委員紹介
- (2) 会長の選出・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料1

2 議 事

- (1) 報告事項
 - ・ 報告第1号
令和5年度宇都宮市民大学事業報告について・・・・・・・・資料2
 - ・ 報告第2号
令和5年度宇都宮市民大学収支決算について・・・・・・・・資料3
- (2) 協議事項
 - ・ 協議第1号
令和6年度宇都宮市民大学事業計画（案）について・・・・資料4
 - ・ 協議第2号
令和6年度宇都宮市民大学収支予算（案）について・・・・資料5

3 そ の 他

4 閉 会

宇都宮市民大学運営協議会委員名簿

任期：宇都宮市民大学運営協議会運営要領第4条の規定による期間
(令和4年9月1日～令和6年8月31日)

令和6年4月1日現在

No.	氏名	所属団体等役職
◇ 1	あかばね ゆきお 赤羽 幸雄	とちぎボランティアNPOセンターぽ・ぽ・ら マネージャー
2	あらい たかし <u>荒井 隆</u>	国立大学法人 宇都宮大学 社会共創・情報部社会共創・研究課長
3	うすば まさあき <u>薄羽 正明</u>	学校法人 宇都宮美術学院 宇都宮メディア・アーツ専門学校 学校長
4	おおいし かずひろ 大石 和博	宇都宮共和大学 都市経済研究センター運営委員長 (シティライフ学部教授)
5	おおたに よしひさ 大谷 佳久	株式会社 栃木放送 報道制作局長
6	きくち よしこ 菊地 美子	宇都宮市生涯学習センター運営審議会 委員
7	さいとう あきひこ 齋藤 明彦	株式会社 下野新聞社 編集局総務部長
◇ 8	のなか まさと 野中 正知	公益財団法人 とちぎ未来づくり財団 常務理事兼事務局長
9	ばば ともひさ 馬場 知久	宇都宮市講座企画・運営ボランティアスタッフ グループ「宙」代表
○ 10	まるやま じゅんいち 丸山 純一	文星芸術大学 副学長(美術学部 教授) 宇都宮市民大学講座企画運営選考委員

○ 副会長 ◇ 監事

※ 下線は新任の委員

宇都宮市民大学運営協議会事務局名簿

役 職	氏 名	備 考
事務局長	<u>塚田 真仁</u>	教育委員会事務局 生涯学習課課長
事務局次長	<u>横山 靖夫</u>	" 生涯学習課課長補佐
事務局員	加藤 裕史	" 生涯学習課係長
	久保 孝弘	" 生涯学習課総括
	<u>鈴木 豪</u>	" 生涯学習課社会教育主事
	<u>菊池 美咲</u>	" 生涯学習課主任主事
	角田 佑樹	" 生涯学習課社会教育主事
	田中 大翔	" 生涯学習課課主事
	釜井 羽依	" 生涯学習課課主事
	<u>金田 陽南子</u>	" 生涯学習課課主事
	塚田 哲夫	" 生涯学習課会計年度任用職員
	松永 佳寿子	" 生涯学習課会計年度任用職員
	<u>藤田 莉帆</u>	" 生涯学習課会計年度任用職員

※ 下線は新任の事務局員

宇都宮市民大学運営協議会運営要領

適用 平成 4 年 5 月 1 日
平成 12 年 7 月 1 日
平成 14 年 9 月 1 日
平成 16 年 4 月 1 日
平成 22 年 4 月 1 日
平成 22 年 9 月 1 日
平成 26 年 9 月 1 日
平成 27 年 4 月 1 日

(趣旨)

第 1 条 この要領は、宇都宮市民大学実施要綱（以下「要綱」という。）第 4 条第 4 項に規定する宇都宮市民大学運営協議会（以下「協議会」という。）の運営について必要な事項を定めるものとする。

(所掌事項)

第 2 条 協議会は、宇都宮市民大学に関し次の各号に掲げる事務を行う。

- (1) 講座の企画の承認に関する事
- (2) 運営に関する事
- (3) 予算及び決算の承認に関する事
- (4) 市内高等教育機関との共催事業に関する事
- (5) その他必要と認める事項

(組織)

第 3 条 協議会は、委員 10 人以内をもって組織する。

2 委員は、次の各号に掲げる者のうちから要綱第 4 条第 2 項に規定する学長が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 生涯学習関係者
- (3) 宇都宮市講座企画・運営ボランティアスタッフ

3 協議会は、専門講座の企画運営の選考をさせるため、宇都宮市民大学講座企画運営選考委員会を設置することができる。

4 第 2 項の委員のうち 1 名は、宇都宮市民大学講座企画運営選考委員会委員を兼ねるものとする。

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、欠員を生じた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任することができる。

(会長及び副会長)

第5条 協議会に会長及び副会長1人を置き、委員がこれを互選する。

2 会長は、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 協議会は、会長が招集する。

2 協議会は、委員の半数以上の者が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

4 会長が必要であると認めるときは、協議会の委員以外の者の出席を求めることができる。

5 前項に定める出席を求められた者は、議事の決定に加わることはできない。

(監査)

第7条 協議会に監事2人を置き、会長がこれを指名する。

2 監事は、協議会の会計を監査する。

(庶務)

第8条 協議会の庶務は、要綱第4条第5項に規定する事務局（教育委員会事務局生涯学習課）が処理する。

(補則)

第9条 この要領に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

令和5年度宇都宮市民大学事業報告について

1 専門講座

- (1) 前期 (5月22日～ 7月11日) 別紙 1, 別紙 2
 (2) 後期 (10月17日～12月15日) 別紙 3, 別紙 4

項目	令和5年度	令和4年度	令和3年度
講座数	12講座(対前年度±0講座)	12講座(対前年度△2講座)	14講座
受講者数	677人(対前年度+81人)	596人(対前年度+63人)	533人
修了者数	526人(対前年度△15人)	541人(対前年度+40人)	501人
修了率※	91.7% (対前年度+1.0ポイント)	90.7% (対前年度△3.2ポイント)	94.0%
定員の上限	60人(対前年度+10人)	50人(対前年度+20人)	30人
備考	・令和4年度Vスタッフ養成講座修了生に事務局企画枠を提供 ・宇都宮メディア・アーツ専門学校と連携し「録画配信コース」を導入	・前年度に申込み多数の講座を「リクエスト講座」として実施	・令和2年度前期に中止した講座を一部取り入れて実施

※ 修了の規定のない「柳田邦男氏講演会」と「録画配信コース」の受講者数を除いて算出

2 公開講座 別紙 5, 別紙 6

市民大学開校30周年を記念して、市民大学の更なる周知と認知度向上を図るため、多くの方々に関心を持たれる内容となるよう、2023年WBC日本代表監督である栗山英樹氏を講師に迎えて実施した。

項目	令和5年度	令和4年度	令和3年度
講座名	人を育てる力	宇宙すごいぜ! はやぶさ・はやぶさ2の挑戦	宇宙すごいぜ! はやぶさ・はやぶさ2の挑戦
開催手法	参集型	参集型とオンライン型	中止(参集型)
会場	ライトキューブ宇都宮 1階大ホール	ライトキューブ宇都宮 3階中ホール	文化会館大ホール
受講者数	1,455人	380人	

3 総評

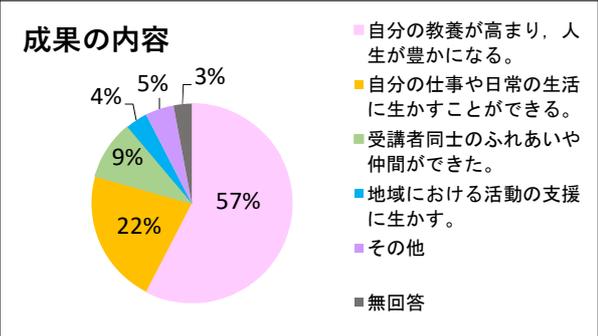
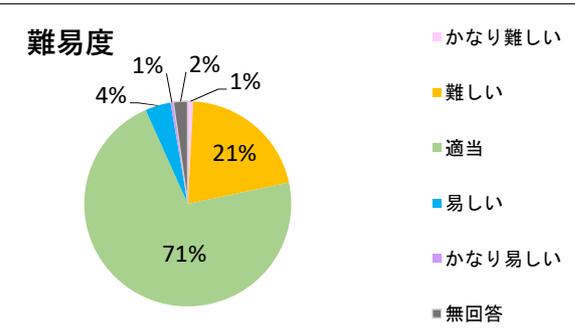
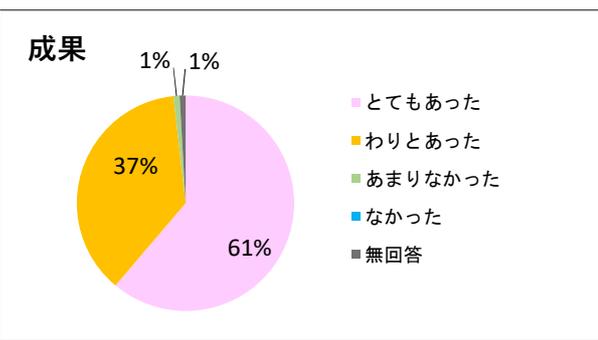
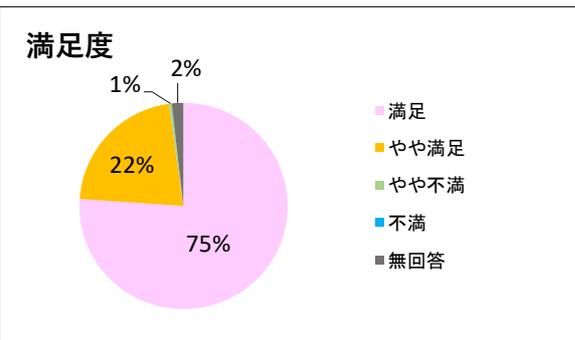
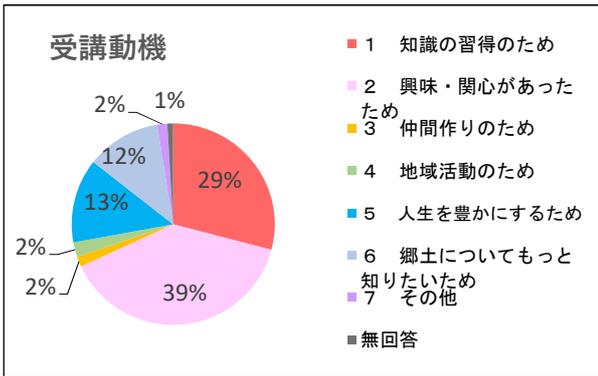
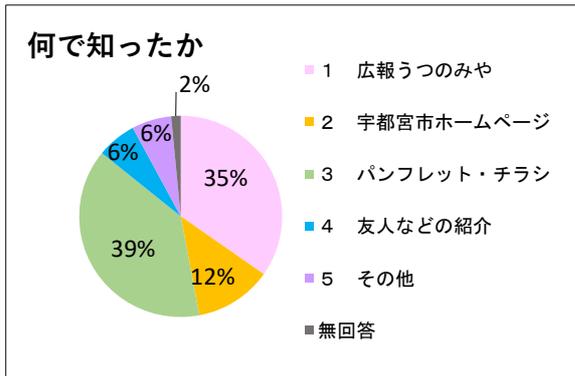
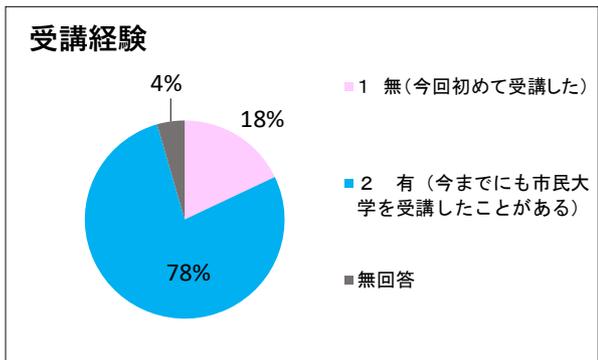
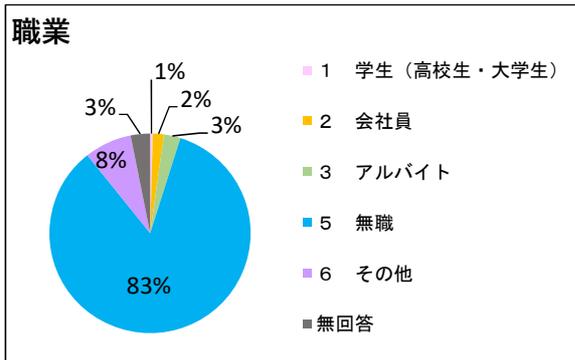
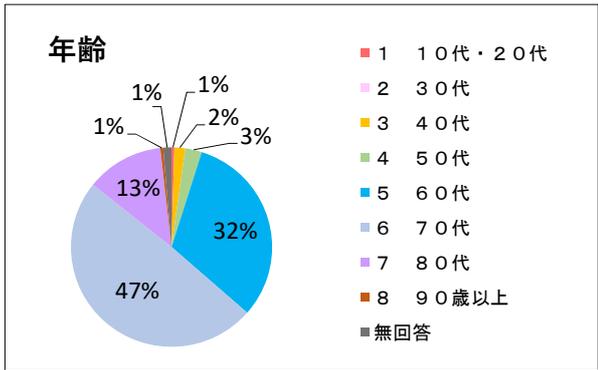
- ・ 専門講座については、定員の増員により前年度よりも受講者数が増え、より多くの市民に学習機会を提供することができた。
- ・ ワークショップや館外学習、運動や折り紙などの実技、キノコの栽培キットの提供など様々な体験学習を取り入れたことで、受講者から高い満足度を得ることができた。
- ・ 後期の1講座では、メディア・アーツ専門学校と連携して「録画配信コース」を導入し、これまでの参集型の講座では受講できなかった市民にも学習機会を提供することができた。
- ・ 公開講座については、令和5年を代表する講師の起用により、幅広い年代層から多数の申込みがあり、新規受講者の獲得や宇都宮市民大学の周知につながった。

令和5年度宇都宮市民大学前期専門講座の実施状況について

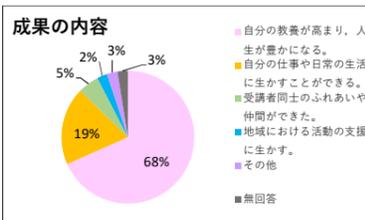
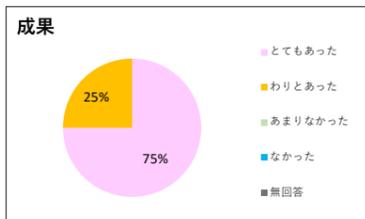
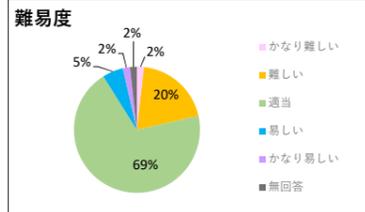
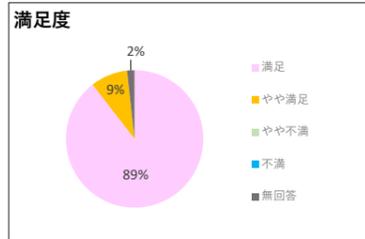
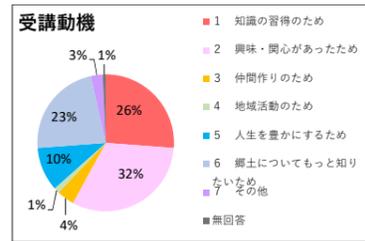
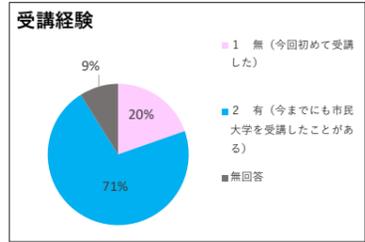
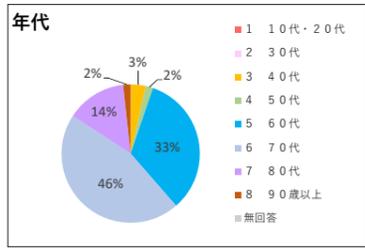
コース	講座名 (開講数)	企画者 (グループ)	講師	開催 期間	(募集定員) [応募者数] 受講者数	修了者数 (修了率)	講座の評価	(参考) 受講者の感想・意見
I	【郷土を愛する宇都宮学コース】 下野の戊辰戦争 ～宇都宮藩を中心に～ (全8回)	ともしび	・宇都宮市文化財保護審議委員会 委員 大嶽 浩良	5/23 ～ 7/11	(60) [102] 70	64 (91.4%)	旧幕府軍による宇都宮城占領、新政府軍による宇都宮城奪還の史実から宇都宮藩を中心として戊辰戦争を学ぶことにより、宇都宮と「戊辰戦争」との深い関わりについてより深く理解することができる講座となった。 栃木県の歴史について長年研究してきた大嶽氏による講座ということもあって募集定員を大きく上回る応募があり、満足度、修了率とも高い数字を記録した。 また、受講者アンケートから、学習した史跡を早速訪問したいという受講生に加え、既に見学したことはあるが再度訪れたいという受講生も多数おり、講座終了後の自主学習にもつなげることができた。	■満足度 98.2% ■感想 ・図書や地域の街歩き講座などでは知っていたものの、より深くその背景が分かり大変興味深かった。 ・単に資料の文字面を読んで説明されるのではなく、講師ご自身による調査・研究から具体的な戊辰戦争を学ぶことができた。 ・幅広い知識をたくさんお話してくださり、非常に勉強になった。知らないことばかりで、驚きの連続だった。 ・なぜこのような無為な戦いがあったのか考えさせられた。 ・講義内容の面白さと講師の軽妙な話術が楽しかった。
II	【今を読み解く現代社会コース】 宇都宮の底力 ～新たな「エネルギー」と「まちづくり」～ (全6回)	七福人	・宇都宮大学国際学部教授 高橋 若菜 ・(特) うつのみや環境行動フォーラムエネルギー管理士 今出 善久 ・一般社団法人ソーラーシステム振興協会専務理事 原 人志 ・クラフトワーク株式会社専務取締役 益子 暁式 ・宇都宮市環境創造課職員 吉田 朝実 ・(特) うつのみや環境行動フォーラム 再生可能エネルギー部会メンバー ・宇都宮大学地域デザイン科学部准教授 石井 大一朗	5/26 ～ 6/30	(60) [31] 26	24 (92.3%)	持続可能な様々なエネルギーや脱炭素化社会に向けた取組、空き家の再生で街を元気にする活動などについて学ぶことにより、「エネルギー」や「まちづくり」などの身近なテーマを自分の問題として捉え、理解を深める講座となった。 募集定員に対し応募者数はその半数余りであったが、グループワークやその成果発表を含んだワークショップ形式を取り入れることで、受講生同士の交流を通じてより深い学びにつながり、修了率は90%を超えており、講義形式としては適切な人数であったと考えられる。 SDGsをテーマとした講座は社会の要請に応える講座であることから、今後もSDGsを身近に感じるなど受講希望につながるよう工夫をしながら開催していく。	■満足度 91.7% (やや不満1人、無回答2人) ■感想 ・ワークショップで専門分野の人や同じテーブルの人たちとの話し合いや内容の確認ができて良かった。 ・現在の宇都宮の底力を学んだように思う。特に空き家については自分も保有しているのに興味があり、勉強になった。 ・宇都宮の魅力と未来についての考え方が参考になった。根本的な意識改革や教育の必要と思える事項もあった。 ・老活中の身で、住み慣れた家、街中であって、自然が残っている庭をどうすれば良いか考えていた。「空き家会議」の存在等について知ることができて良かった。
II	【今を読み解く現代社会コース】 幸せな暮らしのためのデジタル化・パート2 ～ここまで進歩してきた科学と技術の世界～ (全7回)	宙	・帝京大学理工学部情報電子工学科教授 小川 充洋 ・帝京大学理工学部機械・精密システム工学科助教 福田 直紀 ・帝京大学理工学部情報電子工学科教授 浜田 宏一 ・帝京大学理工学部情報電子工学科教授 棚本 哲史 ・帝京大学理工学部情報電子工学科准教授 室 幸市 ・帝京大学理工学部機械・精密システム工学科講師 三橋 郁 ・帝京大学理工学部航空宇宙工学科講師 高橋 綾香	5/27 ～ 7/8	(60) [39] 38	33 (86.8%)	令和4年度のパート1から引き続き、AI技術や光工学など日々進化を続けている最先端の技術について、各専門分野の講師から具体的に学ぶことにより、新しいデジタル化の流れを学ぶことができる講座となった。 受講者数は定員を下回り、また、土曜日の開催であったことから平日の講座に比べ欠席者も多く、修了率も低くなったが、保護者同伴の高校生をはじめとした10代から50代の参加が17%を占め、平日の日中の時間帯には参加できない層の受講につながったほか、満足度も100%を記録した。 AIやチャットGPTなど、現代社会のデジタル化が進む中で必要となる知識が学べるなど、社会の要請に応える講座であることから、今後も実施方法を工夫しながら開催していく。	■満足度 100.0% ■感想 ・それぞれの講義が近年興味深い内容で、講師の方々が最新の情報やご自身の経験を交えて話してくれたので楽しく受講できた。 ・専門性が高い内容だが知らない言葉を調べることで興味ももてた。先生方には解り易い言葉で講義をしていただけだったので良かった。 ・チャットGPTなど人工知能に関する報道について、ここ1か月大きな変化があり、これらの技術を学び時代に後れを取らないようにしたいと思った。
III	【暮らしを彩る文化・教養コース】 松尾芭蕉の生涯と下野の「おくのほそ道」 ～曾良と共に歩く、間々田宿から遊行柳まで～ (全8回)	宙	・大田原市黒羽芭蕉の館学芸員 新井 敦史 ・元那珂川町なす風土記の丘資料館館長 「下野のおくのほそ道を歩く」著者 桑野 正光 ・那須歴史探訪館学芸員 作間 亮哉	5/22 ～ 7/10	(60) [117] 65	62 (95.4%)	日本古典の代表的紀行作品である「おくのほそ道」に読み込まれた多数の俳句や栃木県内での足跡を学ぶことにより、松尾芭蕉の真の姿に触れることができる講座となった。 募集定員の約2倍の応募があったことに加え、講義での詳細な資料による説明や受講生全員による「おくのほそ道」の朗読、館外学習での現地の空気に触れ、句碑を実際に見ながらの解説など、学習の手法を工夫したことが高い満足度と修了率につながったものと考えられる。	■満足度 98.2% ■感想 ・松尾芭蕉がこんなに栃木と関わりがあったことを初めて知った。 ・館外学習が良かった。机上の講義でなく現場、現物を見たことでより身近に感じ、学びの理解へとつながった。 ・話しが分かりやすく、解説が良かった。今度は自分の足で芭蕉の足跡を巡りたい。 ・先生方が熱心に語ってくださったので講義に聴き入った。
III	【暮らしを彩る文化・教養コース】 和紙と芸術 ～日本の伝統素材を中心に～ (全6回)	文星芸術大学連携	・文星芸術大学美術学部 准教授 中村 寿生 ・文星芸術大学美術学部助教 繁村 周 ・文星芸術大学学長 田中 久美子 ・文星芸術大学美術学部非常勤講師 元鹿沼市立川上澄生美術館館長 青木 理 ・文星芸術大学美術学部非常勤講師 伊良原 満美	6/6 ～ 7/11	(60) [45] 42	41 (97.6%)	日本の美術品における和紙との関わりについて、文星芸術大学との連携講座を全6回にわたり学ぶことにより、様々な角度から学ぶ講座となった。 受講者数は定員を下回ったものの、各回とも講師による実演の披露や受講生による実習を導入したことで、机上だけでは学べないことも多かったことから、高い満足度、修了率を記録し、受講生にとって充実した学習機会の提供につながったものと考えられる。	■満足度 100.0% ■感想 ・各回の先生方が、座学だけでなく、実習を見せてくれたことでより理解が深まった。今回の講座内容は、これまでで私が一番感銘を受けたシリーズだった。 ・6回の講座全て面白く、楽しかった。内容が初回から最終回まで系統立てられていて充実していた。 ・実践をしたので学びが深まった。紙を見たときに材料が何なのか興味も持った。 ・各講師の先生方が非常に熱意を込めて講義をなされて、大変ありがたかった。
III	【暮らしを彩る文化・教養コース】 身近な科学の不思議 ～実験・工作を通して考え、楽しもう～ (全6回)	みやの塾	・宇都宮大学名誉教授 田原 博人	5/25 ～ 6/29	(40) [43] 41	38 (92.7%)	実験をメインとした体験型講座であり、様々な実験や工作を通じて主体的に楽しみながら学ぶことにより、生活と科学との関わりについての理解が深まる講座となった。 令和4年度は土曜日の午前中に同様の講座を実施し、定員を下回ったところであるが、今年度は平日に実施したところ、定員を上回る応募があった。また、毎回同じ班で実験する講義形式を採用したことで、回を重ねるごとに受講者同士が自然に話し合うなど仲が深まり、コミュニケーションの円滑化が図られ、高い満足度、修了率を記録した。 このほか、講師が独自に受講生の感想や意見などを募り、次の講義の際に講師からの回答を配り、フィードバックする形式をとったことも、受講生の深い学びにつながったものと考えられる。	■満足度 100.0% ■感想 ・身近な材料を使った講座で、肩ひじ張らずに参加でき、とても良かった。先生も生徒も一体となって受講できた。 ・身近な生活の中にも、色々な科学があるのだなあと感じた。ボーッとしていないで、色々なことに気づいたり考えたりすることで、いつもの生活がイキイキしてくるような気がした。 ・孫と遊びながら復習しようと思う。 ・当たり前に思っていたことに疑問をもつことの面白さ、それを実験することの楽しさを実感できた。
【コース名】 I 郷土を愛する「宇都宮学」コース II 今を読み解く現代社会コース III 暮らしを彩る文化・教養コース				募集定員	340人	【総合的な評価】 6講座中3講座で定員を超える申込みがあり、キャンセルを見込むなど可能な限り定員を増やし受講決定をした。館外学習やワークショップ、実験など受講生同士で活動する学習方法も再開できたことが、高い満足度や例年と同水準の修了率を維持できたことにつながったものと考えられる。 受講者アンケートでは、成果が「とてもあった」「わりとあった」との回答が、満足度について「満足」「やや満足」との回答が、ともに全体の98%を占めたことから、各講座とも高度で専門的な学習機会を提供する、受講生の知的好奇心を刺激する企画内容であったものと推察される。		
				修了率 (修了者/受講者)	92.9%	【今後の取組方針】 引き続き、高い満足度を維持できるよう、受講者アンケートの結果などを踏まえ、実施方法の見直しや体験型の手法の導入などしながら幅広い学習機会の提供に努める。		

※修了者数は、4分の3以上の出席者

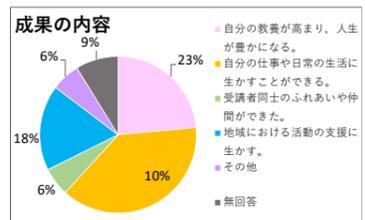
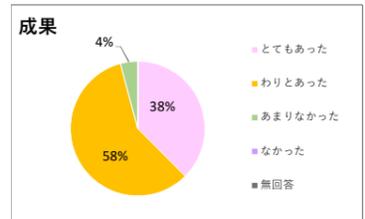
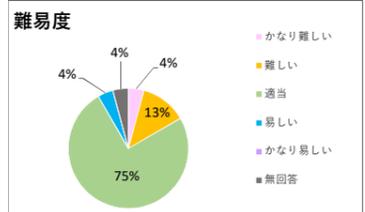
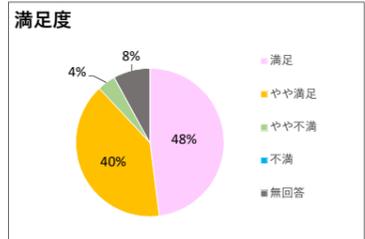
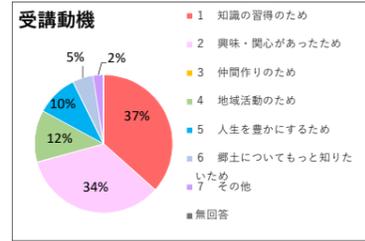
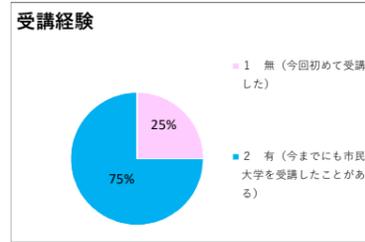
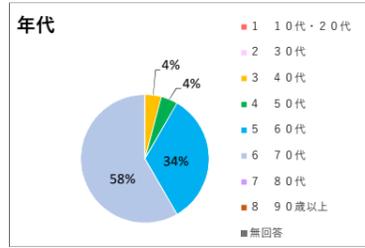
- 1 受講者数 282名
- 2 アンケート回答数 223名
- 3 アンケート回収率 79.1%



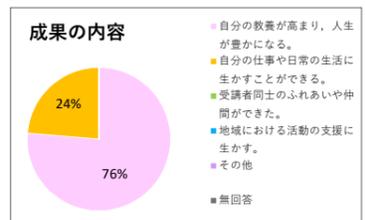
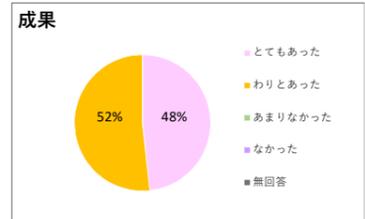
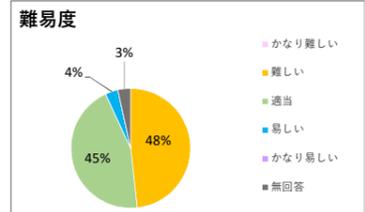
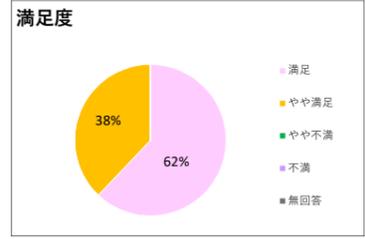
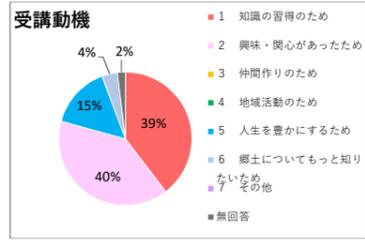
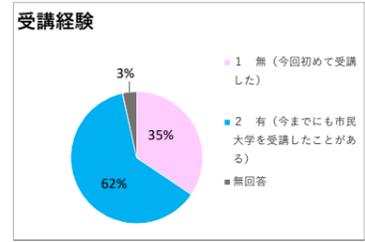
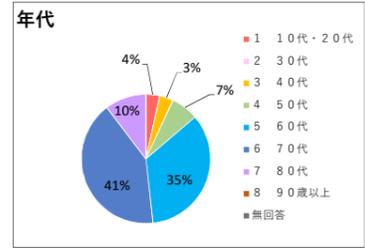
1 下野の戊辰戦争



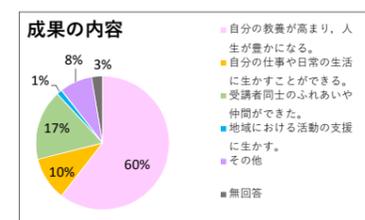
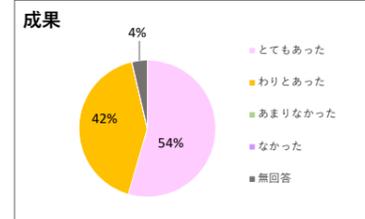
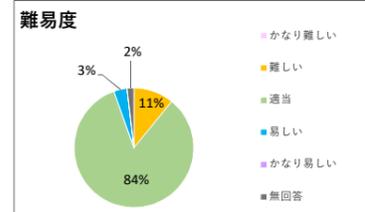
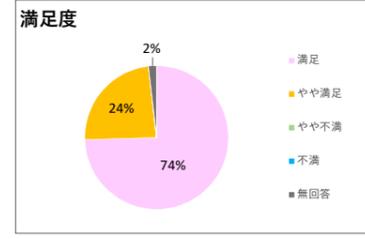
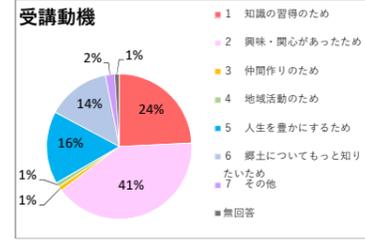
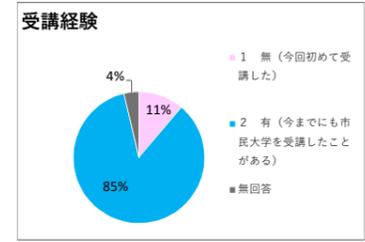
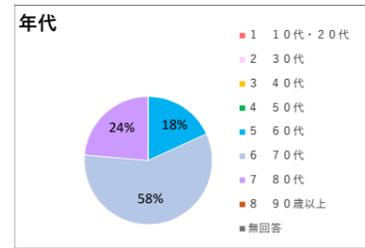
2 宇都宮の底力



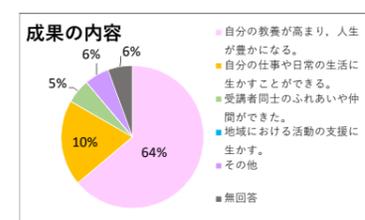
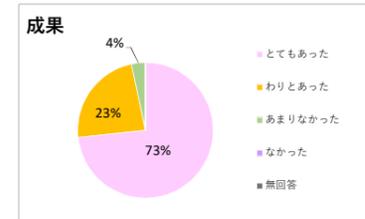
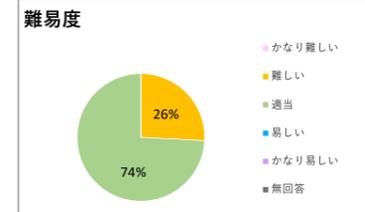
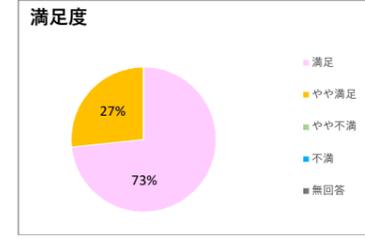
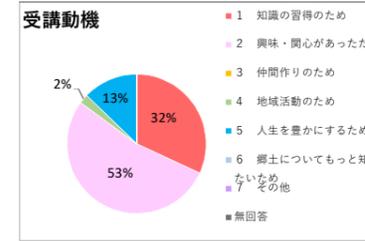
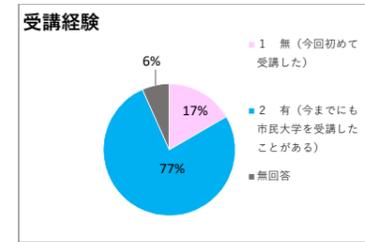
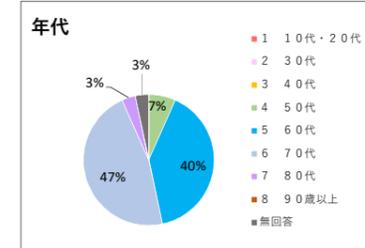
3 幸せな暮らしのためのデジタル化・パート2



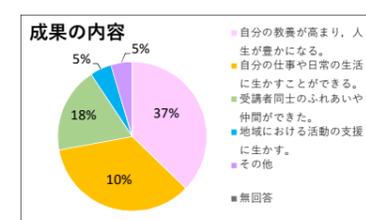
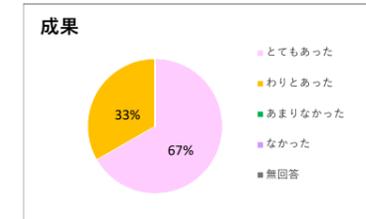
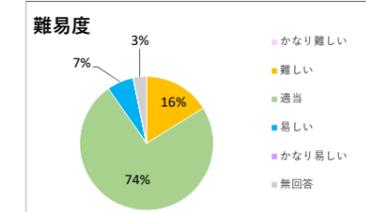
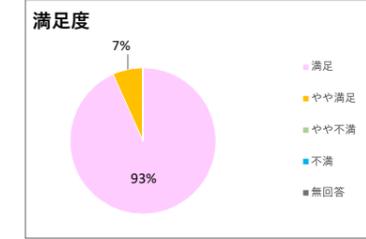
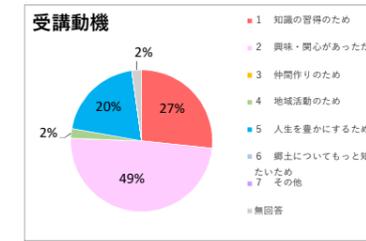
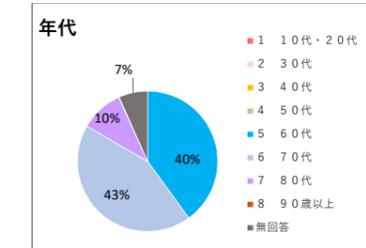
4 松尾芭蕉の生涯と下野の「おくのほそ道」



5 和紙と芸術



6 身近な科学の不思議

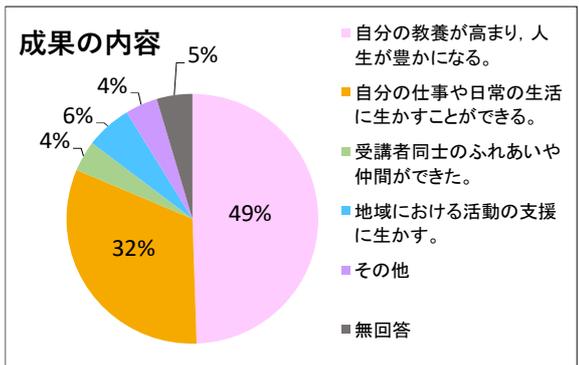
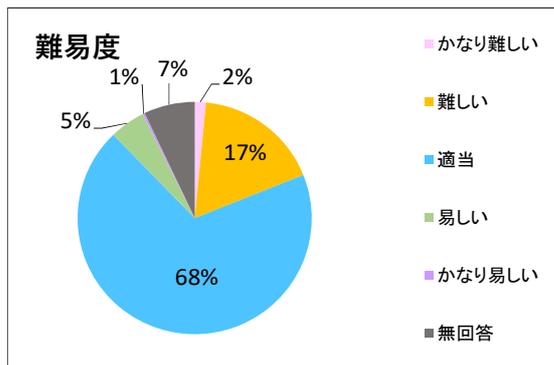
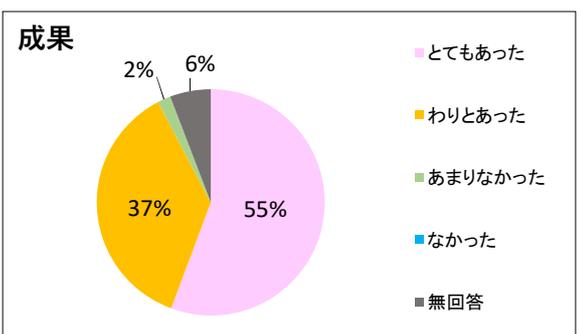
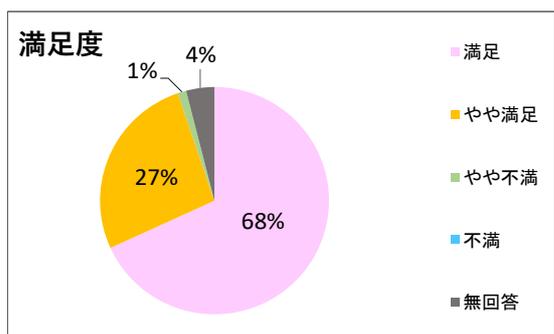
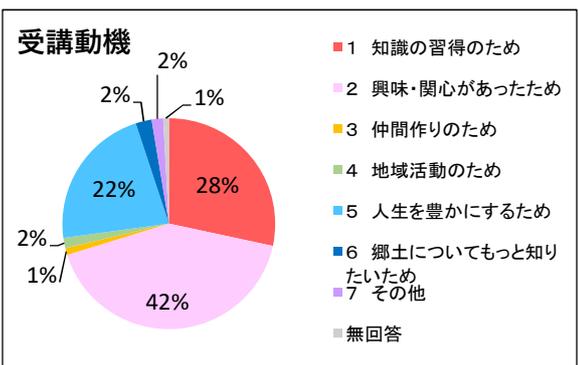
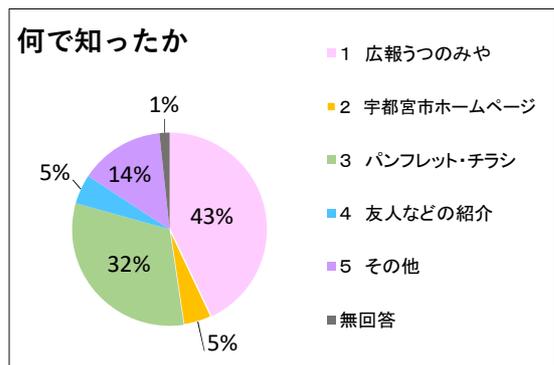
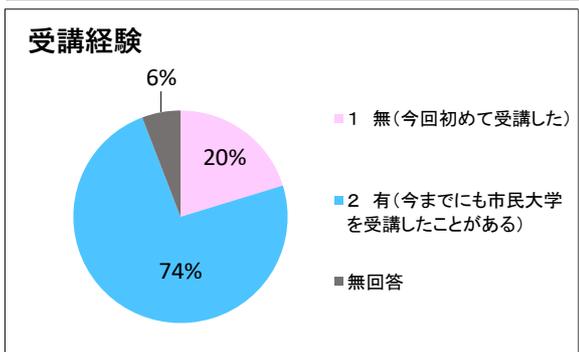
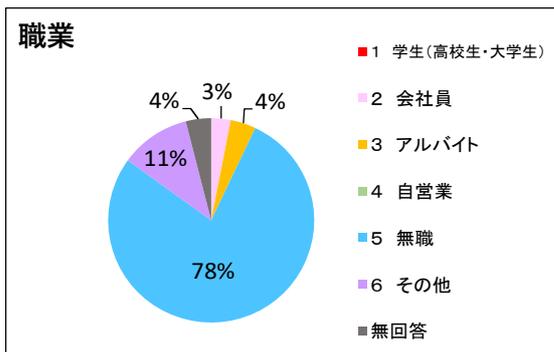
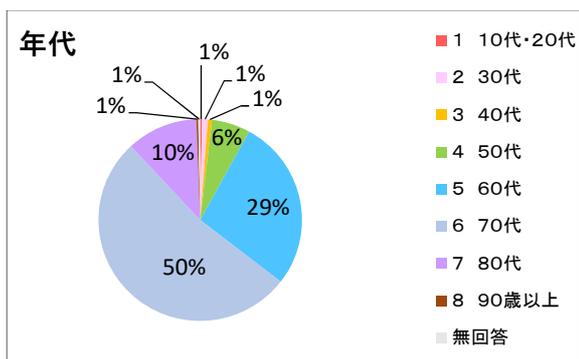


令和5年度宇都宮市民大学後期専門講座の実施状況について

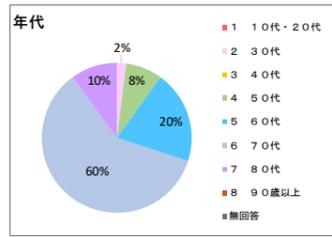
コース	講座名 (開講数)	企画者 (グループ)	講師	開催 期間	(募集定員) (応募者数) 受講者数	修了者数 (修了率)	講座の評価	(参考) 受講者の感想・意見
II	【今を読み解く現代社会コース】 他人(ひと)に寄り添う、自分に寄り添う ～自分らしくいられる居場所に出かけよう～ (全7回)	七福人	・栃木県立がんセンター副病院長, まちなかメディカルカフェ in 宇都宮 代表 平林 かおる ・(特非) サロンみんなの保健室代表 渡邊 カヨ子 ・恩賜財団済生会宇都宮病院 緩和ケアセンター長 粕田 晴之 ・音楽療法士 金子 悦子 ・みらい・ともに・すすむ代表 中田 芳幸 ・マギーズ東京, 栃木県立がんセンター看護師 高田 芳枝 ・分かち合いの会in那須代表 仲山 水生 ・ノンフィクション作家 柳田 邦男	10/17 ～ 11/28	(60) [68] 62	54 (87.1%)	誰もが安心して過ごすことができるよう居場所を提供している講師陣から、個々の内なる行動力を呼び覚まし、よりバランスよく過ごせる環境づくりについて学ぶことにより、家庭とも職場とも違う居場所と仲間づくりの必要性について理解を深める講座となった。各講師により様々な分野の具体的な活動内容を取り入れた講座内容により、満足度は90%を記録した。 市民大学開校30周年記念を記念し、第7回ではより多くの市民に受講いただけるよう、会場を宇都宮美術館に移して定員を増やしたが、連続講座と同様に定員を超える応募があり、受講ニーズの高い講座を開講することができたと考えられる。	■満足度 90.0% ■感想 ・身近にあることを取り上げているので講座内容として適切であり、自分自身の振り返りもできて良かった。県内における様々な活動を知ることができ、今後の生きていく上で必要な情報を把握することができた。 ・自分が活動したい県内の情報が得られた。直接先生方の話を聞くことで、地域における活動が分かり、訪問したいところも出てきた。 ・老いて死が近くになり人生について考えるが、生きなおしのお話で希望もてた。
	柳田邦男氏 講演会 (全1回) ※ 他人(ひと)に寄り添う、自分に寄り添うの最終回		・ノンフィクション作家 柳田 邦男	11/28	(100) [139] 92	/	■満足度 92.8% ■感想 ・人との接し方, 相談方法, ボランティアなどいろいろ勉強となった。前向きに生活を送りたいと思う。	
II	【今を読み解く現代社会コース】 知られざるキノコの世界 ～キノコの生態と環境問題について考える～ (全6回)	大山真一	・日本きのこ学会 代議員(元副会長), 株式会社北研専務取締役 鮎澤 澄夫 ・日本菌学会編集幹事, 株式会社北研主任研究員 大前 宗之 ・日本きのこ学会理事・編集委員, 株式会社北研食用菌類研究所 所長 山内 隆弘 ・日本きのこ学会会員, 株式会社北研主幹研究員 小池 玲英 ・全国食用きのこ種菌協会元会長, 株式会社北研相談役 川嶋 健市 ・栃木県立博物館 主任 山本 航平	10/31 ～ 12/5	(60) [44] 41		40 (97.6%)	自然のキノコの分類や地域性, 食品や薬品としての利用と栽培技術などの身近な話題や, キノコを例に東日本大震災に伴う原発事故の環境問題について学ぶことにより, キノコの重要な役割の理解を深める講座となった。キノコの実物展示やキノコの定点カメラ映像などにより, 飽きのこない講座となったほか, 菌床栽培キットの無償配布により講座当日以外にも成長具合の観察を通じて日常的に体験的に学習することができた。また, キット配布はキノコの成長という共通の話題により受講者同士の積極的な交流のきっかけともなった。こうしたことから満足度は100%, 修了率は90%超を記録した。小学5年生(10歳)が母親と一緒に全回受講したことは他の受講生にとっても刺激となったものと考えられる。
II	【今を読み解く現代社会コース】 近くて遠い国「中国」を知る ～理解と誤解～ (全7回) 【事務局枠：令和4年度Vスタッフ養成講座修了生企画講座】	スマイル10	・宇都宮大学国際学部教授 松金 公正	10/27 ～ 12/15	(60) [65] 63	56 (88.9%)	募集時期の報道も影響し定員を超える応募があった。中国の政治・経済・文化・社会の諸相を通じ、何を誤解しており、どうすれば理解へと近づけていけるのかを学ぶことにより、日本と中国とが分かり合えることの理解を深める講座となった。偏見のあることへの気づきをもたらす講義に加え、日本への留学生、外国への日本人留学生の出席によるワークショップを実施できたことは、生の声を聴く貴重な機会であったことなどから、満足度は95%、修了率は約90%を記録した。企画者はボランティア養成講座修了後初めて企画した講座の開催であったが、講師交渉から当日の運営まで、事務局と協力しながら順調に運営することができた。	■満足度 95.0% ■感想 ・少しの情報で理解したつもりにならず、誤解があることを前提に相手を理解しようとする努力することの大切さを学んだ。このことは「中国」に限らず他の国や対人関係にも当てはまると感じた。 ・学生さんたちとの交流は大変面白く、全体に変化に富んだ講座だった。受講生同士のコミュニケーションを取れる時間がなかったのが残念だった。 ・多くの知見、経験を持った講師の話に多くの興味を持つことができた。多少難解なところがあったが、意義深い講座であったと思う。
III	【暮らしを彩る文化・教養コース】 作新 心と身体健康講座 (全6回) 【作新学院大学・作新学院女子短期大学部連携講座】	大学連携	・作新学院大学人間文化学部准教授 村田 明日香 ・作新学院大学女子短期大学部幼児教育科非常勤講師 糸井 優子 ・作新学院大学経営学部教授 笠原 彰	10/26 ～ 12/7	(60) [24] 18	17 (94.4%)	神経・生理心理学とスポーツ心理学の視点から「心」と「身体」を健康に保つための運動を体験し、学習することにより、人生100年時代を元気に過ごすための「心」と「身体」の健康について学ぶことができる講座となった。定員は下回ったが、講義で多く取り入れた実技では、講師と受講生の距離が近くなり少人数での実施が効果的であった。また、特に連日マスコミで取り上げられている大谷翔平選手のメンタルについて学ぶことで、より興味関心を持つことにつながり、満足度は100%、修了率は約95%を記録した。研修室を離れ別会場での開催であったが、事前に地図を配ることやライトラインの駅方面と学内駐車場側からの双方に立て看板を設置し、スムーズな動線を確認することができた。	■満足度 100% ■感想 ・特に実技は、私にとって、とても大切な講義になった。老体が目覚めた感じだ。 ・3人の講師の方それぞれ特色があって面白かった。もう少し運動の時間があるとよかった。 ・先生方が熱心にご講義くださり、有難かった。 ・テレビや本などでは得られない対面でのお話しが聞けて良かった。
III	【暮らしを彩る文化・教養コース】 「吉澤章」命を宿す創作折り紙 ～「origami」を造形芸術にまで高めた神宿る手～ (全7回)	中八連	・(公財)紙の博物館 主任学芸員 小嶋 昌美 ・国際折り紙研究会 講師, (特非) 創作折り紙吉澤章美術館 理事 木下 芳夫 ・(特非) 栃木みらい文庫代表理事 五十嵐 幸子 ・国際折り紙研究会代表幹事, (特非) 創作折り紙吉澤章美術館 理事 塩川 誠 ・国際折り紙研究会講師, (特非) 創作折り紙吉澤章美術館 理事 稲見 義子 ・株式会社トーヨー取締役企画開発部長生産統括 川田 正男	10/27 ～ 12/15	(60) [42] 39	31 (79.5%)	「origami」を世界の共通語にするほど世界からも評価された吉澤章氏の偉業とその作品について、故人となられた吉澤氏から直接指導と薫陶を受けた講師から吉澤氏の言葉を伺い、折り紙作品の展示を鑑賞することにより、創作折り紙の魅力のほか吉澤章の折り紙に対する姿勢の理解が深まる講座となった。 受講者数は定員を下回ったものの、講師による実演の披露や受講生による実習、折り紙工場での館外学習などを実施したことで、机上だけでは学べないことも多かったことから、満足度は100%を記録した。	■満足度 100% ■感想 ・毎回作品などを見る事ができて良かった。 ・難しい折り方もあったが、やさしい折り方を学び、段々と表情など深みのある折り方を深めたいと思う。 ・折り紙の素晴らしさ、折り紙の技術を日々精進し後世に伝えていきたいと思う。 ・折り紙の各面からの講義を受けて、別世界に入ったような時間で深く、広く、勉強になった。講師の先生方の吉澤章さんへの敬愛が伝わった。 ・今回を契機に吉澤章の折り紙に触れるとともに、業績等が認められることを期待する。折り紙キャラリーにも訪問したいと思う。
III	【暮らしを彩る文化・教養コース】 みる！知る！わかる！慶派の仏像 (全5回)	ともしび	・文芸芸術大学美術学部教授 大澤 慶子	11/2 ～ 12/7	(60) [73] 69	66 (95.7%)	定員を超える応募があり人気の高さを示した。仏像を様々な角度から撮影したものや、台座の裏面や胎内を撮影したものなど、充実した映像資料を用いて、「慶派の仏像」をその時代背景とともに学んだことにより、鎌倉新様式の造仏について理解を深めることができる講座となった。仏像を所蔵する寺について、行き方や仏像公開の有無、講師自ら訪問した時の様子など、受講後の自己学習にも繋がる講義は、満足度・修了率ともに95%超を記録した。また、宇都宮メディア・アーツ専門学校での放送・映像・音響科の先生と学生に協力いただき、対面受講の様子を録画・編集したデータをYouTubeの限定公開で受講者に提供する「録画配信コース」を導入し、受講者からは高い評価を得られた。	■満足度 96.4% ■感想 ・昨年度に続く前回と継続できる講座だったため、理解も深まり有り難かった。仏像に関しての催事の紹介やお寺の紹介が盛り沢山で嬉しかった。 ・以前は館外学習があり実際に仏像を見て先生のお話を伺い、大変勉強になったのでまた見学ができるとよい。
					(上限なし) [11] 11			
【コース名】 I 郷土を愛する「宇都宮学」コース II 今を読み解く現代社会コース III 暮らしを彩る文化・教養コース				募集定員	460人	【総合的な評価】 ワークショップや館外学習、録画配信コースの導入など新しい学習方法を取り入れたことが、高い満足度や例年と同水準の修了率を維持できたことにつながったものと考えられる。 受講者アンケートでは、成果が「とてもあった」「わりとあった」との回答と、満足度について「満足」「やや満足」との回答が、ともに全体の90%以上を占めたことから、各講座とも高度で専門的な学習機会を提供する、受講生の知的好奇心を刺激する企画内容であったものと推察される。 【今後の取組方針】 引き続き、高い満足度を維持できるよう、受講者アンケートの結果などを踏まえ、実施方法の見直しや体験型の手法の導入などしながら効果的な学習機会の提供に努める。		
応募者数	466人							
受講者数	395人							
修了者数	264人							
				修了率 (修了者/受講者)	90.4%			

※修了者数は、4分の3以上の出席者

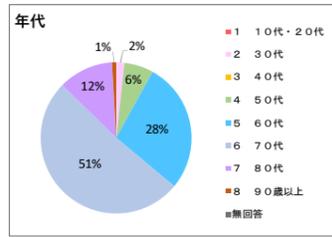
- 1 受講者数 395名
- 2 アンケート回答数 327名
- 3 アンケート回収率 82.8%



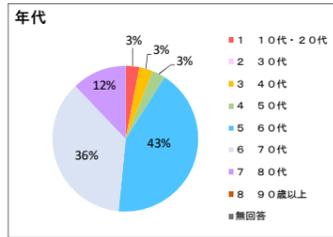
他人(ひと)に寄り添う、自分に寄り添う



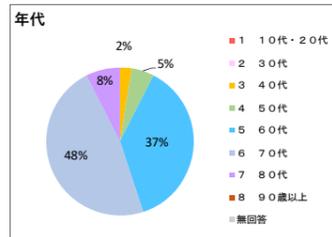
柳田邦男氏講演会



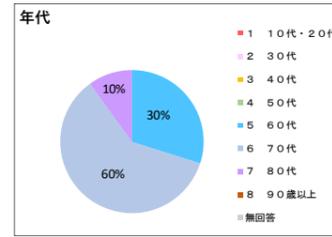
知られざるキノコの世界



近くて遠い国「中国」を知る

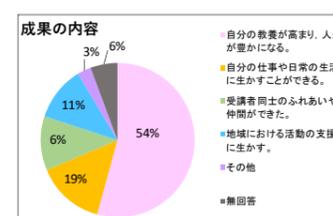
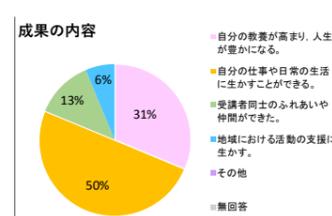
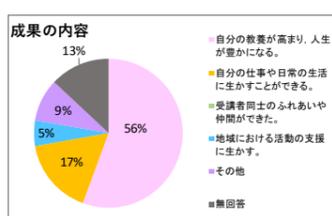
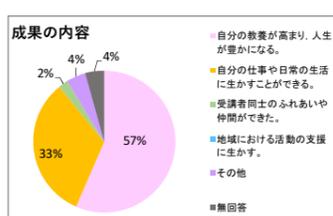
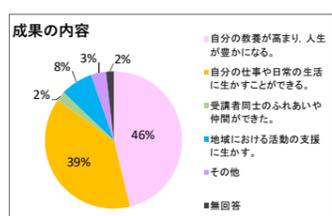
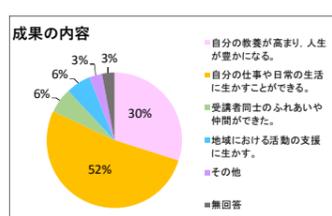
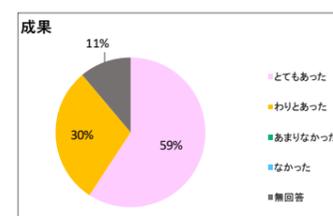
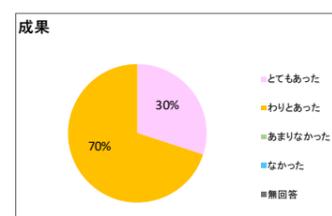
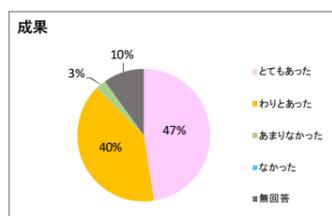
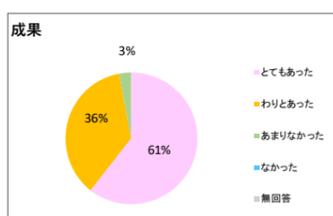
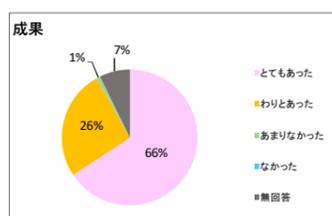
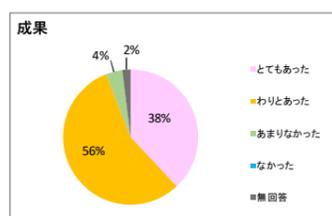
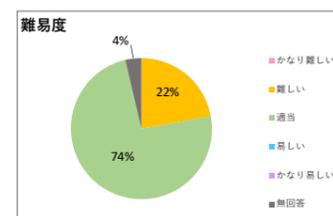
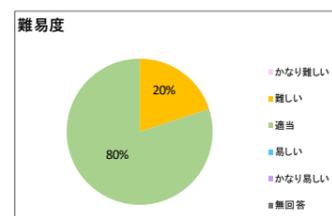
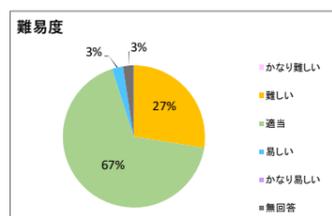
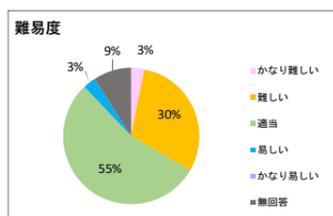
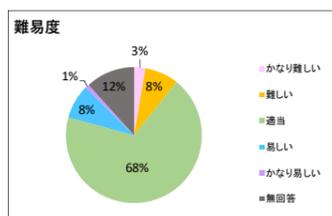
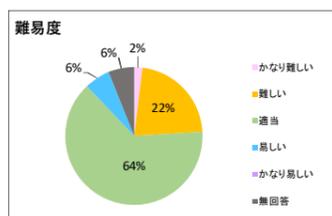
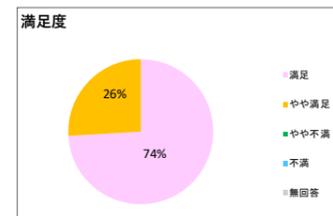
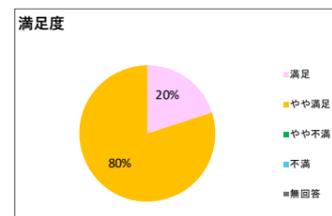
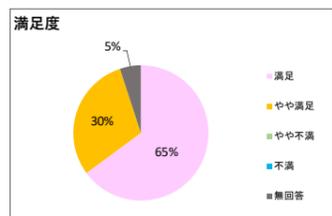
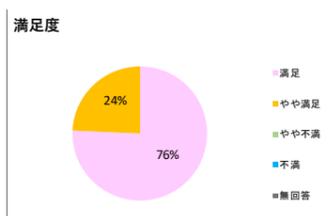
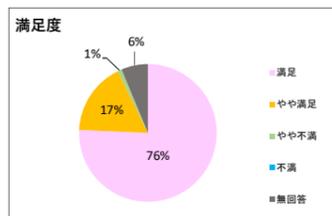
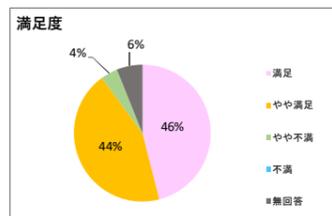
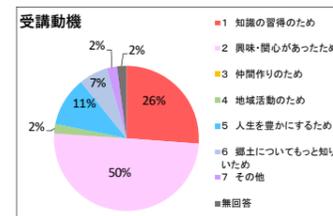
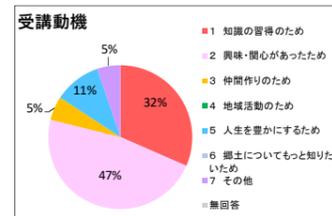
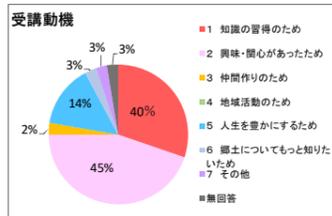
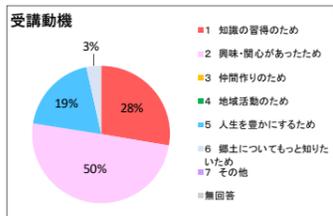
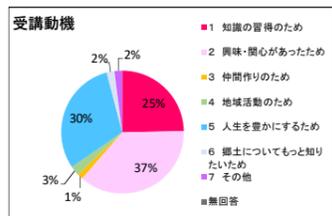
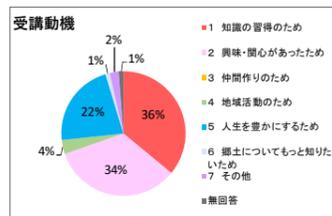
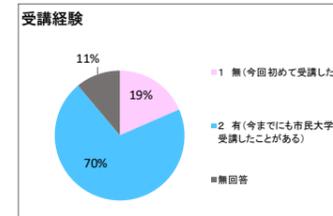
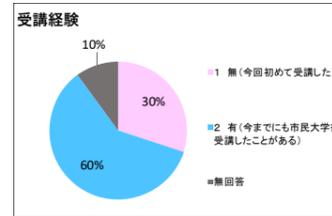
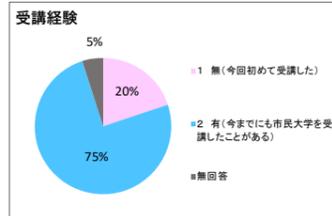
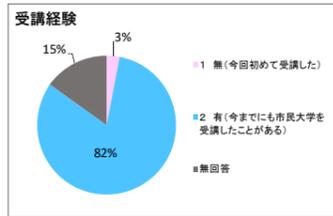
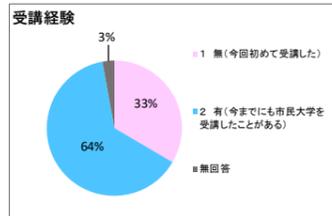
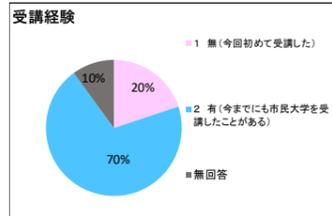
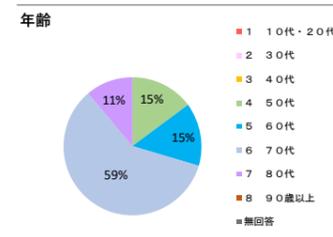


作新 心と身体 の健康講座

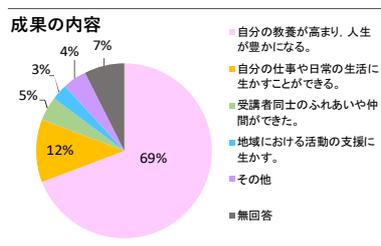
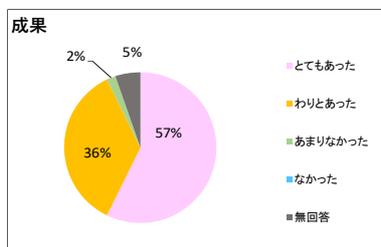
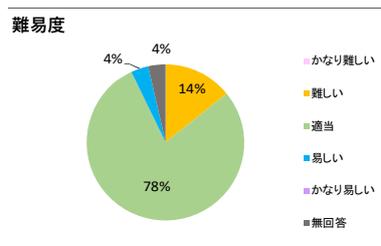
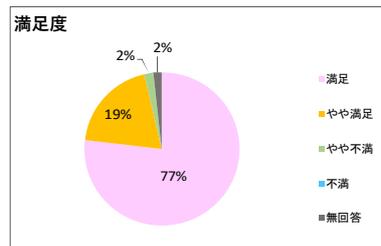
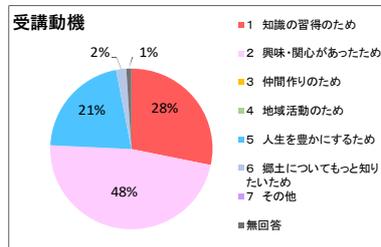
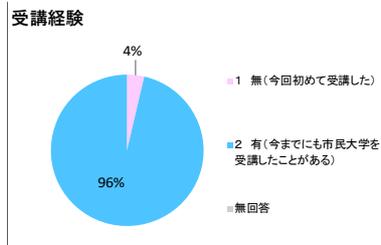
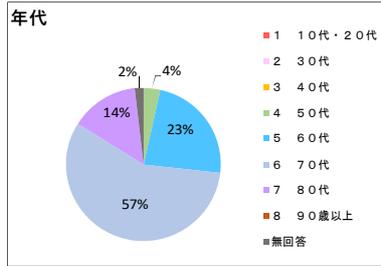


「吉澤章」命を宿す創作折り紙

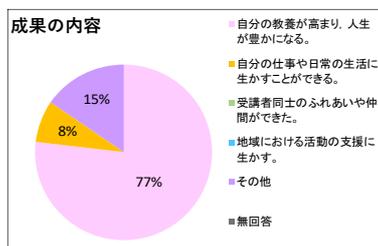
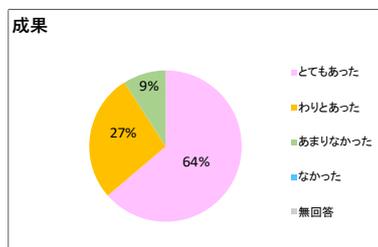
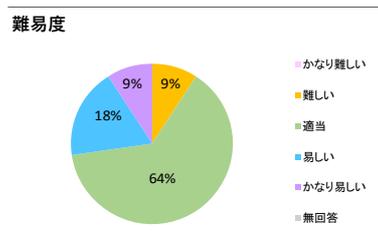
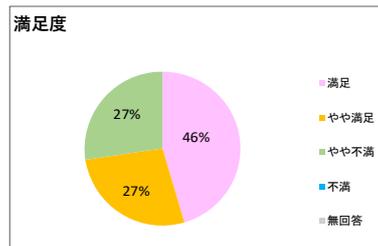
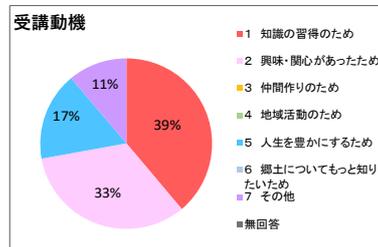
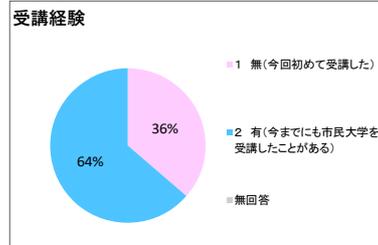
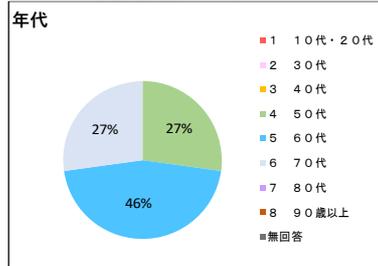
別紙4-2



みる！知る！わかる！慶派の仏像
(対面コース)



みる！知る！わかる！慶派の仏像
(録画配信コース)



令和5年度宇都宮市民大学公開講座の実施状況について

1 実施概要

- (1) 日 時 令和5年12月10日(日) 10時00分～11時30分
- (2) 会 場 ライトキューブ宇都宮 1階大ホール
- (3) 講 師 栗山 英樹氏(2023年WBC日本代表監督)
- (4) 講座名 人を育てる力
- (5) 受講料 無料

2 申込状況等

- (1) 申込者数 3,743名(うち受講経験なし:3,326名, 88.9%)
- (2) 当選者数 1,750名
 - ※ 募集定員は1,500名であったが、より多くの市民に受講機会を提供するため、当選者数を会場収容可能人数にまで引き上げて抽選を実施
- (3) 申込倍率 約2.1倍

3 受講者数 1,455名

4 講座の様子

- ・ 講話は2023年WBCに日本代表として活躍した5選手の裏話が中心で、貴重な映像を見ながら監督の視点からの選手の逸話を伺い、勝利にこだわる姿勢や試合に込められた思いなどに触れ、当時を振り返りながら考えさせられる内容であった。
- ・ 講演の合間には、野球少年少女たちの隣に座って、話が難しくないかを尋ねたりするなど、受講者を飽きさせない配慮をされながら、ステージ上にとどまらずにエネルギーに講演を進めていただいた。
- ・ サプライズ企画のサインボール抽選会では、会場内の受講生とハイタッチしながら移動いただくなど、当選者だけでなく会場全体で楽しめる企画となった。



4 受講者の感想・意見

- ・ 「人を育てる力」というテーマだったが、それについて栗山監督が語るというよりも、栗山監督の体験や考えを聞いて受講者が何を学ぶかという時間だと感じた。栗山監督の話す場面のその時の状況をそこそこ把握していたので、その時どう考えていたというのを知ることができて面白かった。
- ・ 栗山さんの人柄と人間力が素敵だと思った。「人が育てば組織が変わる」という言葉がとても印象的で、その視点をもってこれから仕事を頑張っていこうと思った。
- ・ 話も面白いことに加え、子どもへの配慮やこれからの子どもたちに夢のきっかけづくりに熱心な姿を見て嬉しかった。ポジティブシンキングの強さやその育て方を知りたくなった。
- ・ 要所で子どもに話しかけたり写真を出したり、しっかり頷いて話を聞き込んでいたら声を出して笑ってしまう話を挟んできたり…飽きさせずに引き込む話術に脱帽。
- ・ 状況判断（決めるのではなく落ちるのを待つ）を学んだ。
- ・ 野球に限らず、現在の自分の悩みや問題解決に役立つような話を聞いた。
- ・ WBC優勝という結果に至るまでの準備、経験を生かした戦術、プレッシャーの中にあっても選手を育て率いることを栗山さん自身が楽しんでおられる様子に、こちらもワクワクしながらお話を聞いてよかった。
- ・ 初めての会場だったが駅からわかりやすく、トイレもきれいで数も多くエスカレーター以外に階段も近くにあって大人数が参加する講演でも混み合うことが少ないのではと感じた。モニターも大きく画質もきれいだったのでパワーポイントの画像などもよく見えた。
- ・ 時間があっという間に過ぎてもっと聞いていたかった。聞きたいこともあったので質疑応答の時間があると良いと感じた。
- ・ 段差のある配置だったら、見やすかったと思う。でも左右にスクリーンがあったので楽しめた。
- ・ kintone での入力個人単位であり、家族単位の受付に一部やりにくさがあったのは残念だった。

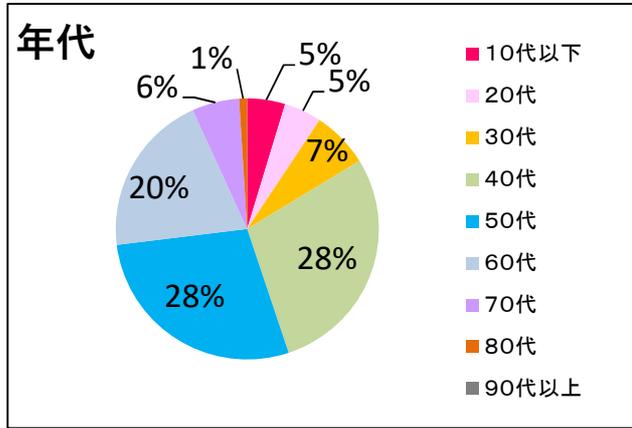
講座名: 栗山英樹氏講演会
 実施日: 令和5年12月10日(日)

別紙6

受講者数	アンケート回収数	アンケート回答率
1,455人	260人	18%

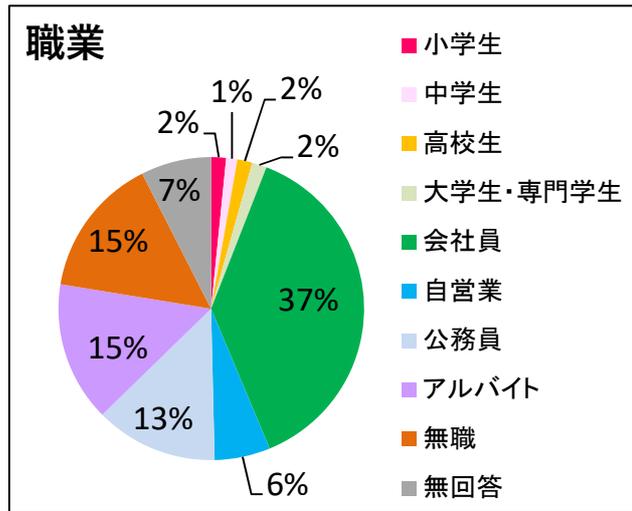
年代

区分	人数	割合
10代以下	12人	5%
20代	12人	5%
30代	18人	7%
40代	74人	28%
50代	76人	28%
60代	52人	20%
70代	15人	6%
80代	1人	1.0%
90代以上	0人	0%
合計	260人	100%



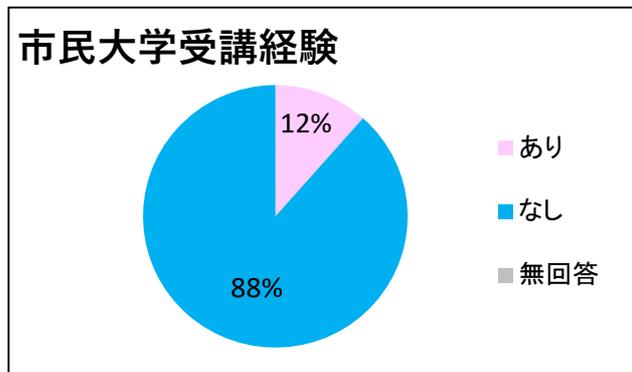
職業

区分	人数	割合
小学生	4人	2%
中学生	3人	1%
高校生	4人	2%
大学生・専門学生	4人	2%
会社員	102人	37%
自営業	15人	6%
公務員	33人	13%
アルバイト	38人	15%
無職	38人	15%
無回答	19人	7%
合計	260人	100%



市民大学受講経験

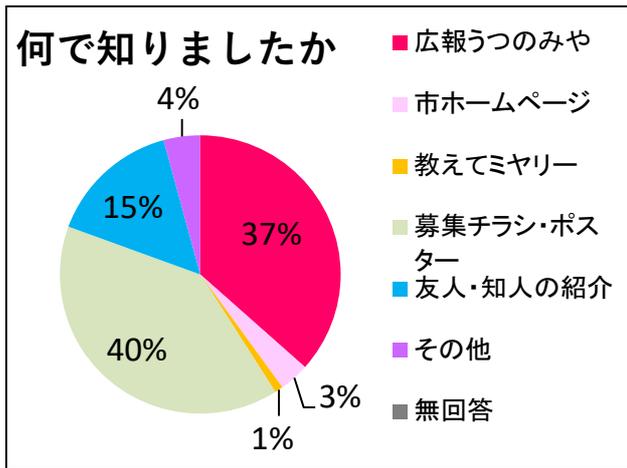
区分	人数	割合
あり	30人	12%
なし	230人	88%
無回答	0人	0%
合計	260人	100%



この講座を何で知りましたか

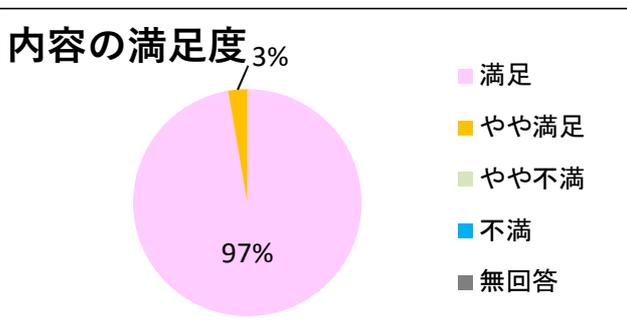
区分	人数	割合
広報うつのみや	95人	37%
市ホームページ	9人	3%
教えてミヤリー	1人	1%
募集チラシ・ポスター	104人	40%
友人・知人の紹介	40人	15%
その他	11人	4%
無回答	0人	0%
合計	260人	100%

その他
下野新聞, リビングとちぎ, Facebook



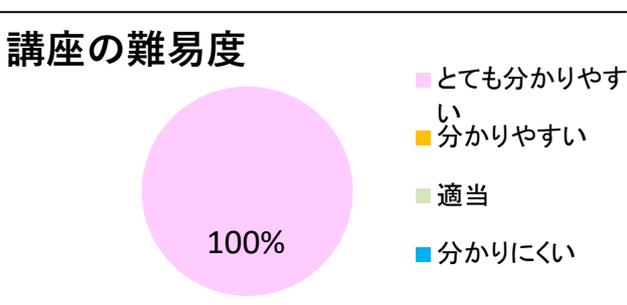
内容の満足度

区分	人数	割合
満足	253人	97%
やや満足	7人	3%
やや不満	0人	0%
不満	0人	0%
無回答	0人	0%
合計	260人	100%



講座の難易度

区分	人数	割合
とても分かりやすい	260人	100%
分かりやすい	0人	0%
適当	0人	0%
分かりにくい	0人	0%
とても分かりにくい	0人	0%
合計	260人	100%



令和5年度宇都宮市民大学収支決算書

収入の部

(単位：円)

款	項	当初予算額	変更予算額(A)	決算額(B)	増減額(B)-(A)	摘要
1	交付金	1,811,000	3,595,000	4,088,000	493,000	宇都宮市より
2	受講料	2,490,000	2,490,000	1,997,000	△ 493,000	公開講座を無料としたことによる減
3	雑収入	1,000	1,000	10	△ 990	預金利息
合 計		4,302,000	6,086,000	6,085,010	△ 990	

支出の部

(単位：円)

款	項(目)	当初予算額	変更予算額(A)	決算額(B)	増減額(B)-(A)	摘要
1	総務費	336,000	336,000	261,819	△ 74,181	委員の会議出席日数減に伴う報償費等の減
	1 報償費	308,000	308,000	243,200	△ 64,800	委員報酬, パンフレットデザイン謝金
	2 需用費	6,000	6,000	6,359	359	会議茶代等
	3 役務費	22,000	22,000	12,260	△ 9,740	資料送付の手法を変更したことによる減
2	事業費	3,966,000	5,750,000	5,823,191	73,191	公開講座の実施規模拡大に伴う報償費等の増
	1 報償費	2,409,000	2,944,000	2,964,235	20,235	専門講座・公開講座講師謝金
	2 需用費	493,000	493,000	570,276	77,276	公開講座の実施に伴う消耗品費等の増
	(①消耗品費等)	120,000	120,000	203,836	83,836	サインボール代, 演台アレンジメント代等
	(②食糧費)	10,000	10,000	13,890	3,890	講師昼食代等
	(③印刷製本費)	353,000	353,000	352,550	△ 450	専門講座募集パンフレット, 公開講座チラシ・ポスター作成代等
	(④修繕料)	10,000	10,000	0	△ 10,000	
	3 役務費	278,000	635,000	672,564	37,564	公開講座の実施に伴う通信運搬費等の増
	(①通信運搬費)	261,000	618,000	647,484	29,484	専門講座募集パンフレット・受講決定通知等の郵送料
	(②手数料)	17,000	17,000	25,080	8,080	振込手数料値上げに伴う増
	4 委託料	179,000	536,000	552,200	16,200	公開講座の会場設営委託に伴う増
	5 使用料	307,000	842,000	858,770	16,770	公開講座会場・備品使用料の増
	6 負担金, 補助及び交付金	300,000	300,000	205,146	△ 94,854	打合せの日数減に伴う講座企画運営費の減
合 計		4,302,000	6,086,000	6,085,010	△ 990	

歳入決算額 6,085,010 円

歳出決算額 6,085,010 円

歳入歳出差引額 0 円

監 査 報 告 書

宇都宮市民大学運営協議会設置要領第7条第2項の規定に基づき、同協議会の収支決算について、関係諸帳簿及び証拠書類等を監査しましたところ、いずれも適正であり、決算書のとおり相違ないことを認めます。

宇都宮市民大学運営協議会

会長 島田 繁雄 様

令和 6 年 3 月 31 日

監 事 赤羽 幸雄

令和 6 年 3 月 31 日

監 事 野中正知

令和 6 年度宇都宮市民大学事業計画（案）について

1 令和 6 年度事業の考え方

本市の社会教育分野において最も基本となる計画である「第 3 次宇都宮市地域教育推進計画後期計画」に基づき、市民のスキルアップやキャリアアップに生かせる高度で専門的な学習ニーズに応えるとともに、「人材かがやきセンター主催講座」や「生涯学習センター主催講座」との差別化を図り、本市の生涯学習事業の中で唯一の有料講座として、心豊かに市民生活を送るための教養講座や、郷土愛を育む地域の文化・歴史講座など、市民の学ぶ意欲を高め、生きがいや精神的な豊かさなど市民生活に潤いを与える学習機会の提供に取り組む。

令和 6 年度については、令和 5 年度の実施状況や課題などを踏まえ、以下の点に取り組む。

- ・ 体験型学習の実施

講座内容に応じて体験的な活動を多く取り入れることにより、受講者の満足度が高まる傾向にあることから、引き続き、講座内容に応じて体験的な学習方法を取り入れていく。

- ・ 定員の引上げ

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが 5 類感染症となったことを踏まえ、抽選の結果落選となる応募者が極力少なくなるよう、定員の上限を 80 名に引き上げる。

2 前期専門講座

V スタッフ企画講座 5 講座、宇都宮共和大学による大学連携講座 1 講座の計 6 講座を実施する。

- (1) 開催期間 令和 6 年 5 月 20 日（月）～7 月 12 日（金）
- (2) 会 場 人材かがやきセンター研修室（中央生涯学習センター 5 階）ほか
- (3) 募集期間 令和 6 年 4 月 1 日（月）～15 日（月）
- (4) 実施講座 【表 1】のとおり

【表 1】前期専門講座一覧

No.	講座コース・専門講座名 (開講数)	主な講師	開催 期間	募集 定員
1	I どうする宇都宮氏？生き残り をかけた天下人との交流 ～戦国の城郭都市多気の成立 と終焉～ (全 8 回)	宇都宮短期大学人間福祉学科 教授 江田 郁夫 氏	5/20 ～ 7/8	80 人
2	I 「JAZZ」に寄り添う ～宇都宮ジャズ史をたどろう～ (全 7 回)	うつのみやジャズのまち委員会 会長 吉原 郷之典 氏 ほか	5/28 ～ 7/9	80 人
3	II 6つのヒントから人生の過ごし 方を考える ～魅力ある宇都宮で豊かに暮ら すために～ 【宇都宮共和大学連携講座】 (全 6 回)	宇都宮共和大学子ども生活学部 准教授 新井 祐子 ほか	6/7 ～ 7/12	80 人
4	II ヤングケアラーの生活・思い・ その後の人生のこと ～より良い支援のために～ (全 6 回)	栃木県ケアラー支援推進協議会 委員 元ヤングケアラー 仲田 海人 氏	5/25 ～ 6/22	40 人
5	III 柳田國男の栃木旅 ～ルーツ探しから得た民俗学へ の道～ (全 7 回)	栃木県立博物館 名誉学芸員 柏村 祐司 氏 ほか	5/21 ～ 7/2	80 人
6	III 俳句づくり超入門 ～俳句で街を活性化, 俳句を楽 しみ元気に生きよう～ (全 7 回)	一般社団法人 日本俳句協会 理事長 五島 高資 氏 ほか	5/24 ～ 7/5	50 人
			計	410 人

3 後期専門講座

V スタッフ企画講座 4 講座, 帝京大学による大学連携講座 1 講座, 事務局企画枠
1 講座の計 6 講座を実施する。

- (1) 開催期間 令和 6 年 10 月～12 月
- (2) 会 場 人材かがやきセンター研修室 (中央生涯学習センター 5 階) ほか
- (3) 募集期間 令和 6 年 9 月 2 日 (月)～令和 6 年 9 月 17 日 (火)
- (4) 実施講座 【表 2】 のとおり

【表 2】後期専門講座一覧（仮）

No.	講座コース名	専門講座名
1	【事務局枠】 Ⅰ郷土を愛する「宇都宮学」コース	うつくしき うつのみや
2	Ⅲ暮らしを彩る文化・教養コース	山本鼎から川上澄夫,そして現在の創作版画まで
3	Ⅲ暮らしを彩る文化・教養コース	仏教美術入門
4	Ⅲ暮らしを彩る文化・教養コース	幕末維新と志士のかたち「歴史の激動期」
5	Ⅲ暮らしを彩る文化・教養コース	宇宙を探るよもやま話
6	【大学連携講座】 帝京大学連携講座（コース未定）	（未定）

4 公開講座

市民大学の更なる周知による認知度の向上と市民の受講促進を図るため、独立した講座として年1回実施する。

○令和6年度公開講座実施（案）

- (1) 実施日 令和7年3月2日（日）
- (2) 会場 ライトキューブ宇都宮中ホール または 宇都宮市文化会館小ホール
- (3) 実施内容等 生涯学習に対する社会の要請や、市が推進する地域教育の理念を踏まえ、社会的関心や今日的課題に対応した講座内容及び講師を選定する。
※ 講師の選定や開催手法等については次回の運営協議会にて協議
- (4) 受講料 1,000円程度を想定

令和 6 年度宇都宮市民大学収支予算書（案）

収入の部

(単位:円)

款	項	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A)-(B)	摘要
1	交付金				
	1 市交付金	1,811,000	1,811,000	0	宇都宮市より
2	受講料				
	1 受講料	2,775,000	2,490,000	285,000	専門講座の定員引上げに伴う増
3	雑収入				
	1 雑収入	1,000	1,000	0	預金利子
	合 計	4,587,000	4,302,000	285,000	

支出の部

(単位:円)

款	項目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A)-(B)	摘要
1	総務費	340,000	336,000	4,000	
	1 報償費	308,000	308,000	0	委員報酬・パンフレットデザイン謝金
	2 需用費	7,000	6,000	1,000	会議茶代等
	3 役務費	25,000	22,000	3,000	振込手数料値上げに伴う増
2	事業費	4,247,000	3,966,000	281,000	
	1 報償費	2,200,000	2,409,000	△ 209,000	講師謝金, 交通費
	2 需用費	608,000	493,000	115,000	物価高騰の影響に伴う消耗品費等の増
	(①消耗品費等)	187,000	120,000	67,000	講座紙代, インク代等
	(②食糧費)	21,000	10,000	11,000	講師飲み物代等
	(③印刷製本費)	390,000	353,000	37,000	専門講座パンフレット, 公開講座チラシ・ポスター作成代等
	(④修繕料)	10,000	10,000	0	機器修繕料
	3 役務費	377,000	278,000	99,000	受講申込者数増に伴う増
	(①通信運搬費)	338,000	261,000	77,000	受講決定通知郵送料等
	(②手数料)	39,000	17,000	22,000	振込手数料値上げに伴う増
	4 委託料	300,000	179,000	121,000	オンライン配信委託料
	5 使用料	462,000	307,000	155,000	館外学習バス借上料・公開講座会場使用料
	6 負担金, 補助及び交付金	300,000	300,000	0	講座企画運営費
	合 計	4,587,000	4,302,000	285,000	